

第204回「河川文化を語る会」のご案内

講演 **未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話** — 保津川から取り組む海ごみの発生抑制策 —

はらだ さだお
講師 **原田 禎夫 氏**

大阪商業大学公共学部 准教授
NPO法人 プロジェクト保津川 代表理事





急速に深刻化する海のプラスチック汚染。しかし、ごみの大半は私たちの住む町から川を通じて流れ出しています。保津川下りや嵯峨野トロッコ列車で知られる京都・保津川では、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発表し、全国初のレジ袋禁止条例の制定をめざすなど、内陸部から海ごみを減らす取り組みを進めています。なぜ、海のない町から海ごみ削減に向けた取り組みが始まったのでしょうか、また世界ではどんな取り組みが進んでいるのでしょうか？
みなさんと一緒に「私たちにできること」を考えたいと思います。

【講師略歴】

1975年京都府亀岡市生まれ。2005年大阪商業大学経済学部専任講師を経て、現職。
近年深刻な問題となっている海や川のプラスチック汚染について、内陸部からのごみの発生抑制の観点から取り組むとともに、京都・保津川をフィールドに筏流しの復活や天然鮎の復活、内水面漁業の振興など川の文化の再生と伝承に取り組んでいる。
主な著書に、『現代社会の財政学』（共著、晃洋書房）、『産地の変貌と人的ネットワーク —旭川家具産地の挑戦』（共著）、『京の筏：コモンズとしての保津川』（共著、ナカニシヤ出版）など。

- 開催日時 2020年 3月29日（日） 14:30～16:30（受付開始 14:00）
- 開催場所 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター） 11F「1102会議室」
（名古屋市中村区名駅4-4-38）
- 交通 JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- 参加費 無料
- 申し込み/問い合わせ 氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)
公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当：高木
TEL：03-3238-9771 FAX：03-3288-2426 E-mail：kataru@japanriver.or.jp
- 申込締切 定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催：公益社団法人 日本河川協会 共催：愛知・川の会
後援：国土交通省中部地方整備局、愛知県
22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会、全国川ごみネットワーク
当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。
(認定番号：JSCE20-0069, 単位数：2.0単位)

----- (切り取らずにこのままFAXしてください) -----



日本河川協会 行 FAX：03-3288-2426

第204回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな

氏名 _____ 二種正会員(個人会員)・一般・学生 (いずれかを○で囲んでください)

勤務先(記入は任意)

※職種 (いずれかに○) 建設コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NPO等川や水の活動・その他

TEL () FAX ()

※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます。
※ 天候等の理由により、やむを得ず中止する場合は、当協会のfacebook等でお知らせいたしますのでご確認ください。



河川 当講演会は、公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。